

# あomorい松前街道とは

津軽半島東部の青森市から龍飛崎に至る約120kmのルートです。ルートの大半を占める国道280号は、藩政時代に北海道の松前藩主が参勤交代で通ったことから通称「松前街道」と呼ばれており、街道沿いには歴史資源や伝統芸能が今も随所に残されています。



## あomorい松前街道推進協議会

本協議会は沿線の観光振興団体や経済団体、住民組織と自治体等、合計20団体で構成しています。多くの人や物資が行き交った松前街道の賑わいを取り戻すとともに、地域の歴史・文化を見つめ直し、地域の誇りを次世代に引き継ぐため、一体となってルートの景観づくりや観光振興・地域活性化に取り組んでいます。

## 観光案内に便利です



- 青森県庁 東青地域県民局** 017-734-9412  
住/青森市長島二丁目10-3 青森フコク生命ビル5階 <https://www.pref.aomori.lg.jp/>
- 青森市役所 交流推進課** 017-734-5175  
住/青森市中央一丁目22-5 <http://www.city.aomori.aomori.jp/>
- 蓬田村役場 産業振興課** 0174-27-2111  
住/蓬田村蓬田汐越1-3 <http://www.vill.yomogita.lg.jp/>
- 外ヶ浜町役場 産業観光課** 0174-31-1228  
住/外ヶ浜町字蟹田高銅屋44-2 <http://www.town.sotogahama.lg.jp/>
- 今別町役場 企画課** 0174-35-3012  
住/今別町今別今別167 <http://www.town.imabetsu.lg.jp/top.php>

- 観光案内所**
- 青森市観光交流情報センター(JR青森駅正面)**  
住/青森市新町1丁目1-25 電/017-723-4670  
営/8:30~19:00(年中無休)
- あomorい観光情報センター(JR新青森駅内)**  
住/青森市石江高間140-2 JR新青森駅2F 電/017-752-6311  
営/8:30~19:00(年中無休)
- 龍飛岬観光案内所**  
住/外ヶ浜町三厩龍飛59-12 電/0174-31-8025  
営/4月25日から11月30日/9:00~16:30(最終入館16時)

平成26年8月作成  
編集・発行/東青地域県民局地域連携部  
〒030-0861 青森県青森市長島二丁目10-3 青森フコク生命ビル5階  
電話 017-734-9412

# あomorい松前街道



松前街道は、青森市油川地区で羽州街道から陸奥湾沿いに北へ向かい、三厩地区へ至るルートで、油川地区には羽州街道・松前街道合流点碑が、外ヶ浜町三厩地区には松前街道合流点碑があります。幕末期には外国船が津軽海峡や陸奥湾にも出現し、それに対応するため当時の弘前藩が築いた砲台跡も各所に存在します。外ヶ浜町平館地区は、樹齢300年の黒松が1km以上にわたって続く歴史情緒あふれる松並木と、台場跡の双方が残る象徴的な地域になっています。



松前街道の沿線には、藩政時代から街道を行き交う人々を見守り続けてきた松の古木が各地に残されています。外ヶ浜町平館地区の松前街道松並木には、樹齢約600年の全国有数の威容を誇る「長寿の松」、樹齢400年の黒松と樹齢300年の赤松が寄り添う「夫婦松」が残ります。青森市後潟の「昇竜の松」は、代々松前藩の宿泊所となっていた旧家跡にある樹齢約500年の黒松の巨木で、藩主から贈られた松の盆栽を庭に移植したものとされています。また、蓬田村郷沢にある樹齢300年以上の「玉松」や、外ヶ浜町蟹田地区にある樹齢約500年の「鍛冶屋の一本松」は、陸奥湾内を航行する北前船(干石船)が目印にしたと伝わっています。今別町の正行寺にある樹齢300年以上の松の古木は、水平に伸びた枝が飛翔する龍に見えることから、「飛龍の松」と呼ばれています。

## 松前木子物語

外ヶ浜町三厩地区には、平安時代末期の武将・源義経が、兄・頼朝の追討を逃れ北海道へ渡ったとする伝説が伝わっており、義経の名を冠した「義経寺」や、海を渡るため天から竜馬3頭を授かった「尻石」などがあります。ほかに、幕末の志士に多大な影響を与えた思想家・吉田松陰や、全国を測量した伊能忠敬、紀行家の菅江真澄らがこの道を通りました。また津軽半島最北端の龍飛崎には多くの文人墨客が集まり、文豪・大幸治にまつわる文学碑も数多く存在しています。

## 松前街道の景観